

学習目標（「身につけたい力」）

- ・美術の基礎的・基本的な知識と技術を定着させる。
- ・発想を豊かにし、造形方法を工夫した考えや思いを表現する力を身につける。
- ・伝統的美術作品や多種多様な美術的活動に興味関心を持ち、それらを尊重する態度を身につける。
- ・造形や鑑賞を愛好し、生涯にわたって自分の生活を潤す力を身につける。

学年	第1学年	第2学年	第3学年
時数	年間45時間	年間35時間	年間35時間
1学期	<p>「オリエンテーション」</p> <p>「スケッチ」(表現) ○対象をよく見つめる目を学びます。 ○表現方法を学び、見えるままに描きます。</p> <p>「色の学習」(表現) ○色の性質を理解し、生活の中で様々な役立てられている色彩について学びます。</p> <p>「レタリング」(表現) ○レタリングの技法を学び、文字の美しさと伝達力の効果を理解します。</p> <p>「ポスター」(表現) ○内容をわかりやすく相手に伝えることを学習します。 ○学習発表会のポスターを作成します。 ○夏季休業中課題</p>	<p>「オリエンテーション」</p> <p>「スケッチ」(表現) ○対象を深く観察する目を学びます。 ○表現方法を学び、陰影を捉えて描きます。</p> <p>「平面構成」(表現) ○色と形について学習します。 ○単純模様から連続模様を構成し、配色効果を考えて着色します。</p> <p>「ポスター」(表現) ○内容をわかりやすく相手に伝えることを学習します。 ○内容を各自で選択し、コンクールへ参加します。 ○夏季休業中課題</p> <div data-bbox="730 1473 954 1774" data-label="Image"> </div> <p>「切り絵」</p>	<p>「オリエンテーション」</p> <p>「スケッチ」(表現) ○対象を深く観察する目を学びます。 ○表現方法を学び、陰影を捉えて描きます。</p> <p>「木彫」(表現) ○彫刻の技法を応用しながら、使って飾って楽しむ作品を制作します。 ○表現に必要な道具や技法を有効に活用して制作します</p> <p>「文化遺産」(鑑賞) ○人々の願いや祈りに思いを巡らし、仏像の魅力や仏教美術、建築について学習します。 ○歴史的に守り伝えられた義を理解し、文化遺産を尊重する態度を身につけます</p> <p>「屏風絵」(表現) ○四季折々の風景などをもとに、発想を広げて描きます。 ○作者の思いや表現の工夫を感じ取ります。 ○夏季休業中課題</p>

学年	第1学年	第2学年	第3学年
2 学 期	<p>「パズル」(表現) ○技法や道具の使い方を理解し、自分の思いを表現します。 ○手順を理解し、丁寧に作品を完成させます。</p> <p>「クロッキー」(表現) ○対象をよく見つめる目を学びます。 ○対象の特徴を捉え、短時間で描き表します。</p>	<p>「切り絵」(表現) ○表現に必要な道具や技法を有効に活用して制作します。 ○目標を立て計画的に制作を進め、作品を完成させます。</p> <p>「クロッキー」(表現) ○対象を深く観察する目を学びます。 ○対象の特徴を捉え、短時間で描き表します。</p>	<p>「ポートレート」(表現) ○スクラッチボードの特性を理解し、制作段階に適した用具を適切かつ安全に使用することを学びます。 ○ハッチングの技法を身につけ、人物の陰影を表現します。 ○ニードルやアートナイフを使用し、表現の多様さを理解します。</p> <p>「クロッキー」(表現) ○対象を深く観察する目を学びます。 ○対象の特徴を捉え、短時間で描き表します。</p>
学年	第1学年	第2学年	第3学年
3 学 期	<p>「絵文字」(表現) ○レタリング・色彩の学習で学んだことを活かし絵文字を制作します。</p> <p>「名画の鑑賞」(鑑賞) ○ゴッホの作品などを理解し、作者の表現や思いを学びます。</p>	<p>「木彫」(表現) ○彫刻刀を用いて、木彫の基礎・基本について学習します。 ○様々な彫刻刀の技法を身につけ、レリーフで表現します</p> <p>「名画の鑑賞」(鑑賞) ○ピカソの作品などを理解し、作者の表現や思いを学びます。</p>	<p>「ペーパーウェイト」(表現) ○卒業に向け、自分の思いを作品として表します。 ○デザインナイフを用いてカッティングの技法を身につけ、サンドブラストで表現します。</p> <p>「名画の鑑賞」(鑑賞) ○様々な作品を理解し、作者の表現や思いを学びます。</p>

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
主な 評価 方法 と その 内容	<p>全 学 年 共 通</p> <p>○授業への取り組み ○デザイン画 (アイデアスケッチ) ○制作段階の状況 ○作業状況 (安全で効果的な道具・素材の活用) ○完成作品 ○定期考査</p>	<p>○授業への取り組み ○デザイン画 (アイデアスケッチ) ○制作段階の状況 ○完成作品 ○定期考査</p>	<p>○授業への取り組み ○授業への準備 ○提出物の状況 ○ワークシート ○定期考査</p>

学年・学期・分野により使用する評価内容が異なる場合があります。